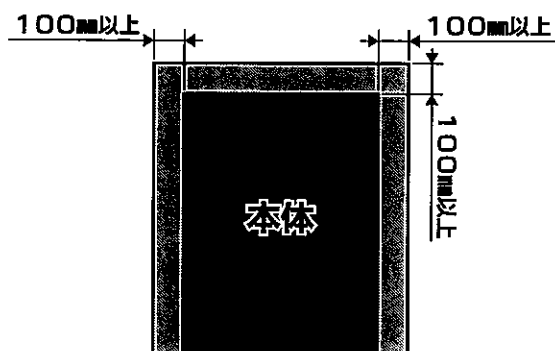


据付けについて

- 作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください。
本機の周囲は、100mm以上空けてください。



- 丈夫で平らな場所に水平になるように据え付けてください。
据付けに不備があると、転倒、落下によるケガの原因になります。
- 振動のない場所に据え付けてください。
- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。
周囲温度が0℃以下になる場所には据え付けしないでください。飲料が凍結して容器の破損の原因になります。
- 直射日光のあたるところや、周囲温度が32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください。
容器などが変形、色あせしたり、冷えが悪くなります。
- 風通しの良い場所に据え付けてください。
風通しが悪いと、熱気がこもり、本機の寿命を短くしたり漏電の原因になります。
- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。
- 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください（電源コードの長さ：1.8m）。
- 水のかからないところに据え付けてください。
本体と電源コードに水がかかると、漏電、感電の原因になります。
- アース工事を必ずおこなってください。
アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。

1 操作のしかた

日常の操作の流れ

本機を使用した1日の作業の流れは次のようになります。

飲料を容器に入れます

電源を入れます

専用コンセントに電源プラグを差し込んでください。
電源スイッチをONにしてください。
自動的に冷却を開始します。

飲料を取り出します

コップでフォーセットレバーを押すと、飲料が取り出せます。

ドレンパンの廃液を捨てます

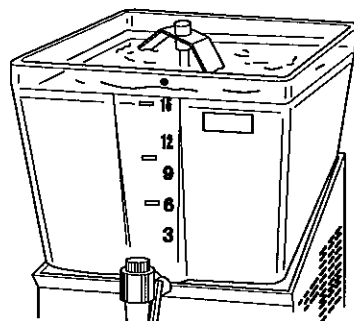
各部を洗浄・清掃します

運転を終了するときは、飲料をすべて抜き取り、電源スイッチをOFFにしてください。
洗浄・清掃は毎日おこなってください。

●運転をするには

洗浄のために取り外した各部品を組み立てます。

1 ボウルカバーを開け、飲料（ジュース類）をボウルに入れてください。



お願い

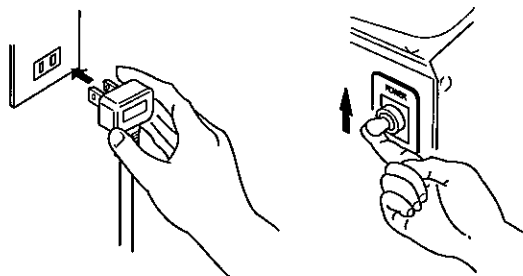
- ・必ずパドルをパドル軸に取り付けてから入れてください。
- ・有効内容積は 18 L ですので、それ以上は入れないでください。
- ・ボウルには飲料（ジュース類）以外のものは入れないでください。ボウルやパドルの破損、機械の故障の原因になります。
- ・粘度の高い飲料は使用しないでください。うまく攪拌されず、均一に冷えません。
- ・ボウルに 30℃ 以上の熱い飲料（コーヒー、麦茶など）を入れしないでください。機械が故障しますので、冷ましてから入れてください。

2 ボウルカバーを閉めてください。

3 電源プラグを専用コンセントに差し込み、電源を ON にしてください。

飲料の冷却を開始します。

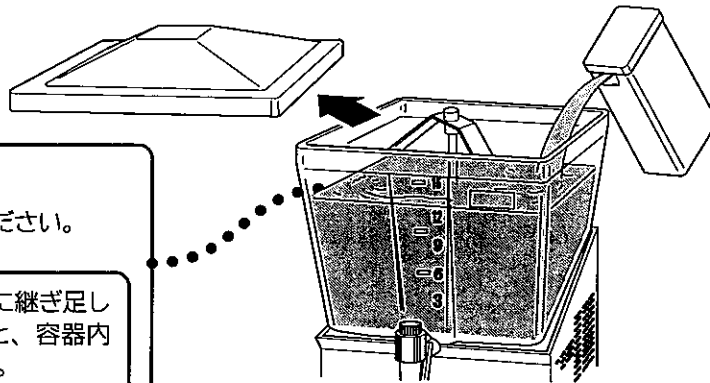
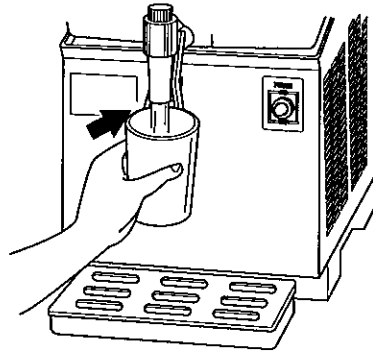
GT-5WN は 2 つ電源スイッチが付いていますので、順番に入れてください。



4 ボウルカバーを閉めてください。
(冷却能力は、仕様欄をご参照ください。)

●飲料を取り出すには

- 1 コップを持ち、フォーセットレバーを押してください。
飲料がコップに注がれます。



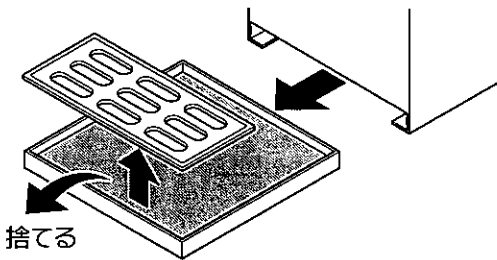
飲料が少なくなったら…。
容器蓋を開け、飲料を継ぎ足してください。

お願い

- ・容器の飲料が残り1Lになる前に継ぎ足してください。1L未満になると、容器内の飲料が凍る可能性があります。

廃液がたまったら…。

ドレンパン内に廃液がたまったら、ドレンパンを取り出し、廃液を捨ててください。



△注意



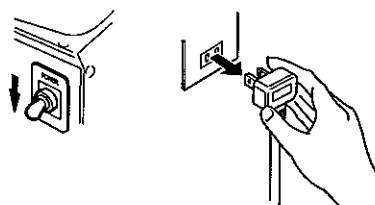
ドレンパンにたまった廃液は、あふれる前に捨ててください。廃液があふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

●運転を停止するには

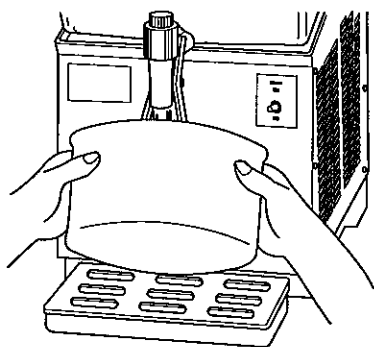
- 1 運転を停止するときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

お願い

運転を停止してすぐに運転を再開すると、冷凍機に負担がかかり、故障の原因になります。必ず3分以上時間をおいてください。



- 2 ボウル内の飲料をすべて抜き取ってください。



ボウル内の飲料を抜き取る際には、清潔な容器をレバーに押しつけてください。

抜き取った飲料は清潔な容器に入れ冷蔵庫で保管してください。

- 3 本機の洗浄・清掃をおこなってください。
「2 お手入れについて」を参照してください。

2 お手入れについて

毎日のお手入れ

お願い

- ・洗浄後、保管されている場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。
- ・次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の錆、および腐食の原因になりますので使用しないでください。

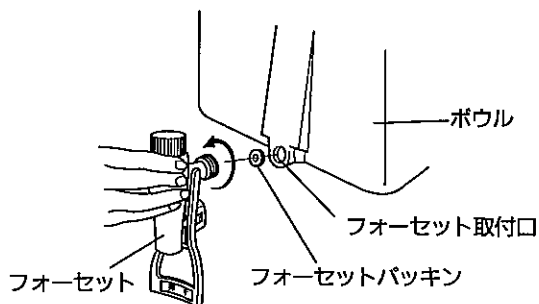
メモ

- ・除菌洗浄剤は、下記のを推奨します。
除菌洗浄剤（無泡性）
※入手が困難な場合は、弊社（株式会社 エフ・エム・アイ）にご注文ください。
- ・アルコール除菌剤は、下記のが適当です。
アルコール除菌剤……………「アルベットE」（サラヤ株式会社製）

●ボウルとボウル内の部品の洗浄

ボウル、ボウルカバー、パドル、フォーセット、ガスケットを洗浄します。

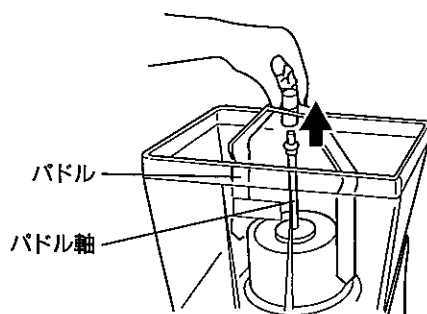
1 ボウルからフォーセットを取り外してください。



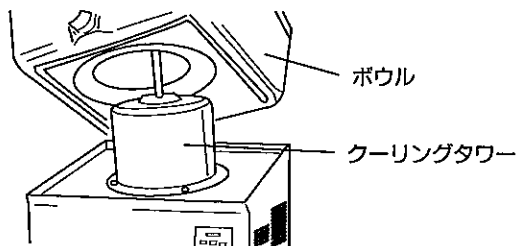
お願い

- 取り外したフォーセットパッキンは、無くさないように注意してください。
- フォーセットを締め過ぎないでください。フォーセットのネジ部分を破損する恐れがあります。

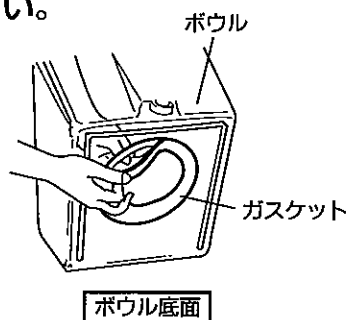
2 ボウルカバー、パドルを取り外してください。



3 本体からボウルを取り外してください。



4 ボウルからガスケットを取り外してください。



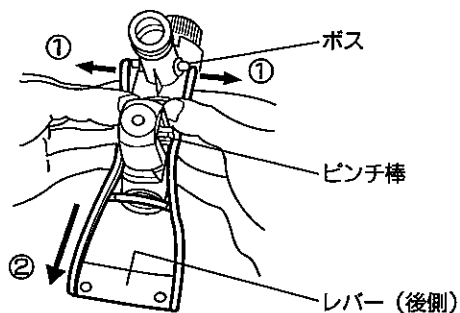
5 ボウル、ボウルカバー、ガスケット、パドルを洗浄してください。

ボウル、ボウルカバー、ガスケットを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、洗剤成分が残らないように十分にすすいでください。

お願い

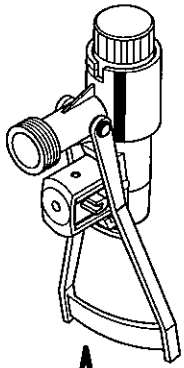
ガスケットは、洗浄の際、ツメなどで傷を付けないよう注意してください。傷が付きますと液漏れの原因になります。

6 フォーセットを分解してください。

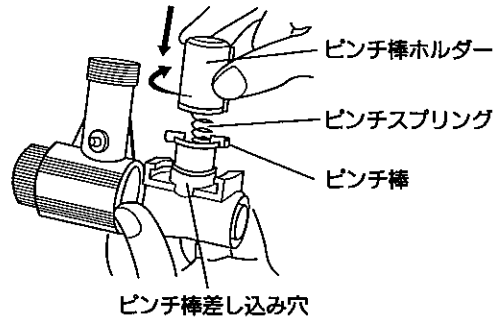


- ①レバーの先端を広げ、フォーセット本体のボスからレバーを外してください。
- ②左図のようにレバーを下方方向に引いて外してください。

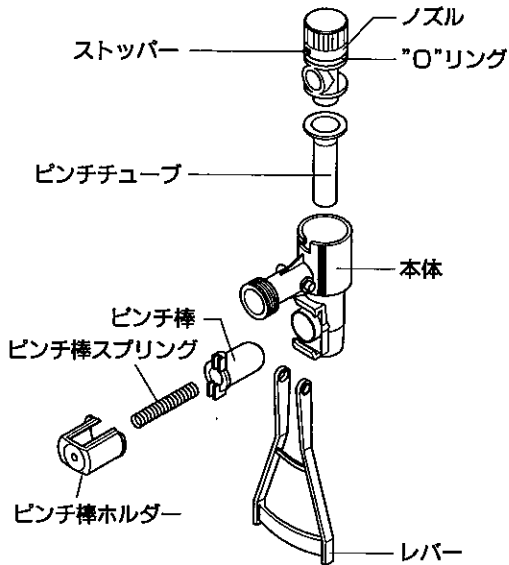
6 フォーセットを分解してください。



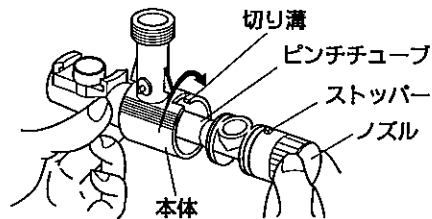
ピンチ棒ホルダーを反時計方向に90° 回し、ピンチ棒ホルダー、ピンチスプリング、ピンチ棒を取り外してください。



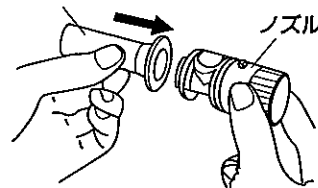
【フォーセット部品構成】



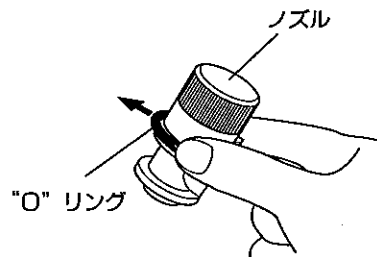
ノズルのつまみを反時計方向に少し回して、ストッパーを切り溝から外し、ノズルを引き抜いてください。
(ノズルが固くて抜けにくいときは、左右に動かしながら引いてください。)



ピンチチューブをノズルから外してください。
ピンチチューブ



"O" リングをノズルから外してください。
("O" リングを外す際は、右図のように指で、押してたるませ、指の腹でねじて外してください。傷がつきやすいので、決して爪や鋭利な器具などを用いないでください。)



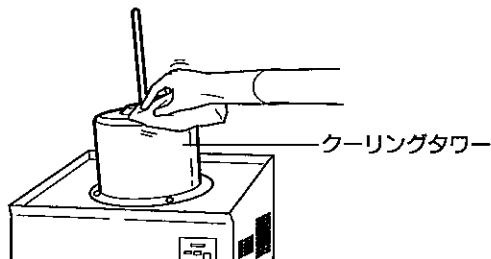
7 手順6で分解したフォーセットの部品を洗浄してください。

フォーセット本体、ピンチ棒、ピンチ棒スプリング、ピンチ棒ホルダー、レバー、ノズルを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、洗剤成分が残らないように十分にすすいでください。

※ “O” リングとピンチチューブはブラシで洗浄しないでください。

●クーリングタワーの清掃

1 クーリングタワーを拭いてください。



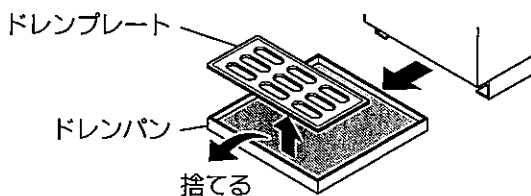
- ・除菌洗浄剤を入れて溶かした水で絞ったきれいな布で、クーリングタワーの汚れを拭いてください。

- ・汚れを拭き取った後は、水を含ませた布で2～3回きれいに拭き、洗剤成分を完全に拭き取ってください。

2 クーリングタワーにアルコール除菌洗浄剤をスプレーして除菌してください。

●ドレンパン・ドレンプレートの洗浄

1 ドレンパンを取り外してください。



- ・ドレンパンを本体から取り外してください。
- ・ドレンプレートをドレンパンから取り外してください。
- ・ドレンパン内の廃液を捨ててください。

2 ドレンパンとドレンプレートを食器用中性洗剤を使って洗ってください。 洗浄後は、洗浄成分が残らないように十分にすすいでください。

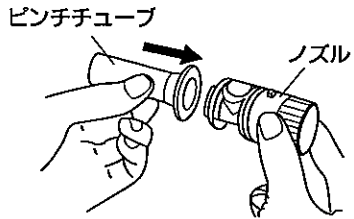
これで、ポウルやパドル、フォーセットやクーリングタワーなどの洗浄・清掃ができました。
次に洗浄のために取り外した部品を組み立てます。次のページに進んでください。

洗淨後の部品の組み立て

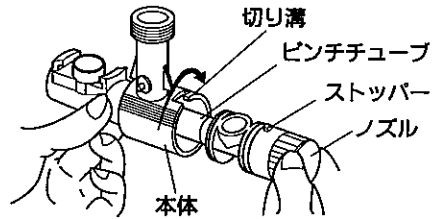
洗淨のために取り外した各部品を組み立てます。

1 フォーセットを組立ててください。

ピンチチューブをノズルに装着してください。

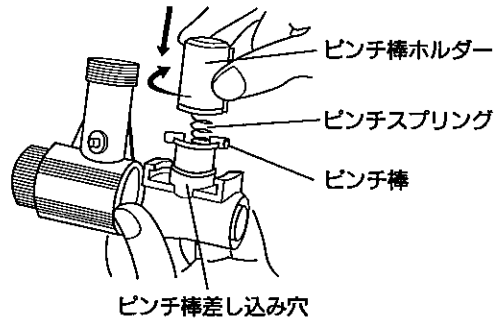


ノズルをフォーセット本体に差し込んでください。



ノズルのストッパーが、フォーセット本体の切り溝にはまるように差し込み、矢印方向に止まるところまで回してください。

ピンチ棒をフォーセット本体にセットしてください。



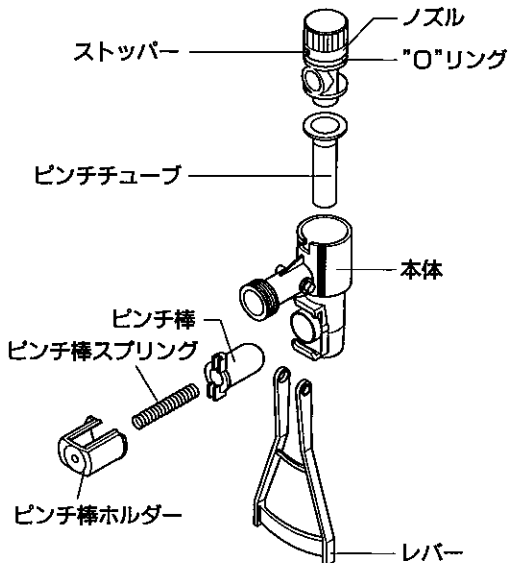
①ピンチ棒の先を水で濡らして、本体のピンチ棒差し込み穴に差し込んでください。

※ピンチ棒の先に水を付けないと、ピンチチューブがよじれますのでご注意ください。

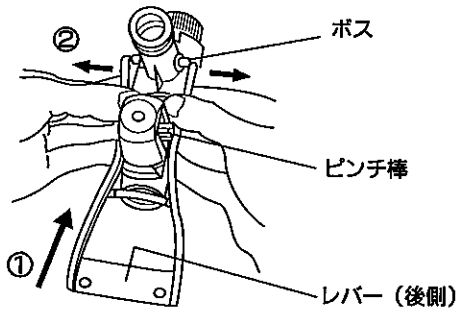
②ピンチ棒の穴に、ピンチスプリングを差し込んでください。

③ピンチ棒ホルダーをピンチスプリングにかぶせて押さえ、時計方向に止まるところまで回して固定してください。

【フォーセット部品構成】



1 フォーセットを組立ててください。



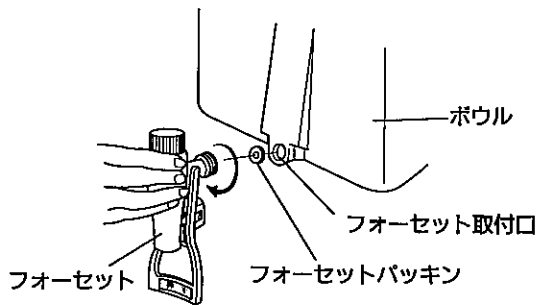
レバーを取り付けてください。

- ①レバーの先端を広げ、フォーセット本体に矢印の方向から差し込んでください。
- ②レバーの先端の穴を本体のボスにはめてください。
- ③レバーを2～3度押し、正しくセットできたら確認してください。

お願い

※レバーの前後を間違わないようにご注意ください。
レバーを先に取付けると、ピンチ棒がセットできませんので、順序を間違わないようにご注意ください

2 フォーセットを本体に取り付けてください。



ボウルのフォーセット取付口に、フォーセットパッキンを水で濡らしてはめ込んでください。

お願い

※フォーセットパッキンは2種類あります。
つぶりジュースのような果肉入り飲料の場合は、穴の大きい方を、普通の飲料の場合は、穴の小さい方を使用してください。
穴の大きいパッキン……………内径 15mm
穴の小さいパッキン……………内径 9mm

先に組立てたフォーセットを、左図の状態から時計方向に2回転させてボウルに取り付けてください。

お願い

※2回転させたとき、フォーセットが垂直に真下に向かず回りすぎる場合は、パッキンが摩耗しています。
液漏れの原因になりますので新しいパッキンと交換してください。(パッキンは弊社にご注文ください)